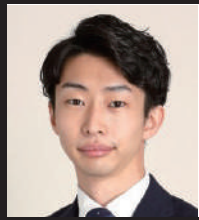


セミナー情報

	株式会社船井総合研究所 IPO支援室 菊池 説希也 大学卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。入社後は、Webマーケティングを用いた集客最大化・集客業務の効率化の業務に携わる。2020年8月よりIPO支援部署に参画。前部署で培ったWebマーケティングの知見を活かしたIPO支援の認知拡大を行っており、クライアントのIPO準備の支援を行っている。
	株式会社船井総合研究所 IPO支援室 シニアコンサルタント 泉 隆志 大手美容関連会社にてIPO（株式公開）準備に従事。その後、複合メーカー、サービス業FC本部、中堅商社等のCFOや上場準備責任者として、IPO業務全般（バックオフィス構築、証券会社対応、監査法人対応、証券取引所審査対応等）に従事し、数社のIPOを実現（ジャスダック・東証マザーズ）。2020年5月より株式会社船井総合研究所に入社し、シニアコンサルタントとして従事。
	株式会社船井総合研究所 IPO支援室 マネージング・ディレクター 宮井 秀卓 株式会社モバイルファクトリーにて経営企画室長としてIPO準備を担当した後、取締役（事業責任者）として、2015年3月に東証マザーズ上場、2017年6月に東証一部上場を経験（IPOにあたっての証券審査、取引所審査共に対応）。2018年4月より株式会社船井総合研究所に入社し、IPO支援業務を立ち上げる。2022年1月、マネージング・ディレクター就任。
	株式会社船井総合研究所 IPO支援室 作田 隆太郎 大学卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。入社後は、IPO支援業務に従事。2021年12月よりJ-Adviser業務の事務局として従事。 認定IPOプロフェッショナル（SIP） 認定上級IPOプロフェッショナル（AIP） IPO・内部統制実務士（IPO-CIS）

※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。

日時 会場	オンライン開催	2024年 1月12日(金) 13:00~14:30 (ログイン開始 12:30~)	【お申込み期限】 1月8日(月)
	オンライン開催	2024年 1月19日(金) 13:00~14:30 (ログイン開始 12:30~)	【お申込み期限】 1月15日(月)

受講料	一般価格	税抜5,000円(税込5,500円) / 一名様	会員価格	税抜4,000円(税込4,400円) / 一名様
	会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン（旧FUNAIメンバーズPlus）へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。本講座はオンライン受講となっております。諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。セミナーご参加方法の詳細は「船井総研 Web 参加」で検索。			

第一講座	「30分でわかるはじめてのIPO」 IPOにかかる期間、IPOまでの流れなどの基本的な内容を説明いたします。
第二講座	「IPO準備で内部監査をアウトソースする3つのメリットとは？」 IPOにおいて必ず運用しなければならない内部監査。 アウトソースすることによって得られるメリットと、そのポイント等を徹底解説いたします。
第三講座	「まとめ講座」 今回のセミナーの総括を行います。
第四講座	「事後ガイダンス」 セミナー参加特典のご説明や経営相談のご案内をいたします。

お申込み方法

右記のQRコードを読み取りいただき、お申込みフォームよりお申込みください。
セミナー情報を当社ホームページからもご覧いただけます！
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/107447>

【TEL】0120-964-000（平日9:30～17:30）
※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。また、お問い合わせの際は「お問い合わせNo.とセミナータイトル」をお伝えください。
※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」で検索しご確認ください。
【年末年始のお知らせ】
2023年12月28日（木）正午～2024年1月8日（月）までは電話がつながらなくなっております。
メール、お問い合わせフォームからのご連絡は1月4日以降順次ご回答させていただきます。尚、受講申込みはWebより24時間受け付けております。
ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。



IPOにおいて必ず運用しなければならない内部監査。
アウトソースによるメリットとポイントを徹底解説！

IPO準備で 内部監査をアウトソースする 3つのメリットとは？

本セミナーで学べる3つのメリット

メリット01 採用・育成

社内登用や経験者の
採用などを悩まなくてよい

メリット02 品質の担保

専門家が実施することで
内部監査特有の
専門性品質を担保できる

メリット03 コスト

専門性の高い機能を内製化することは
結果的にタイムロスやコスト高にも。
社内のリソースを本業に回すことができる

このような方におすすめ



専門性が高い
「内部監査」を
どのようにしたら
良いかわからない
事業主の方



内部監査経験者が
社内に不在・・・。
経験者の採用を
検討している
事業主の方



IPOを
ご検討・準備中の
事業主の方

2024年 1月12日(金) 13:00~14:30 オンライン開催
(ログイン開始 12:30~)

2024年 1月19日(金) 13:00~14:30 オンライン開催
(ログイン開始 12:30~)

主催



明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken

船井総研セミナー事務局

E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

お問い合わせNo. S107447



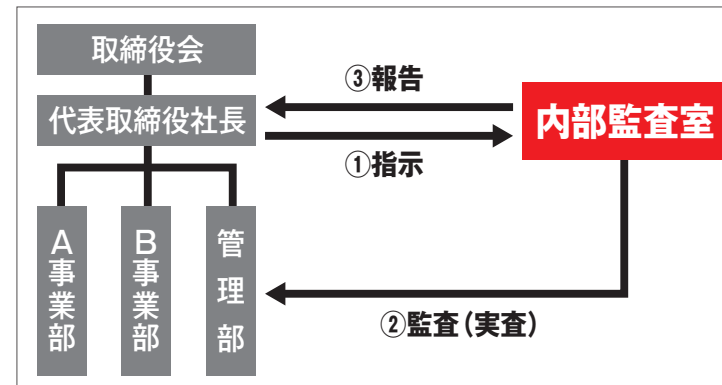
当社ホームページからお申込みいただけます。（船井総研ホームページ[\[www.funaisoken.co.jp\]](http://www.funaisoken.co.jp) 右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。）→ 107447 🔍

上場準備において内部監査を実施する目的とは？

内部監査の目的

内部監査とは、各種規程やマニュアル等に基づいて、会社の業務が適切に運営されているか否かの調査・確認である。

内部監査の実施体制（一般例）

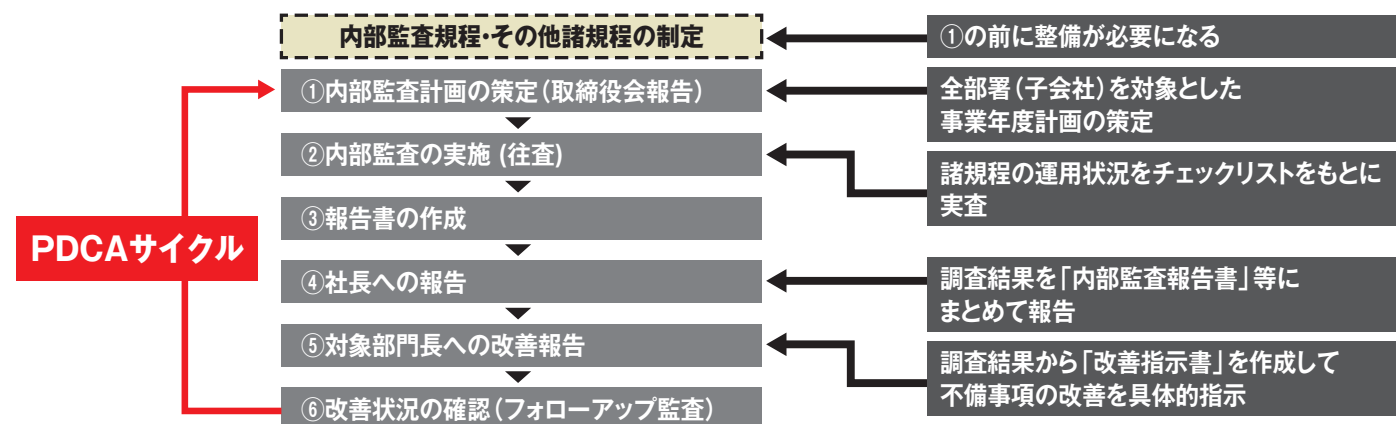


内部監査を実施するにあたり、
A 内部監査室設置（左図）
B 内部監査室非設置の2パターンがある。
Bの場合は、兼任担当者を社長が指名したうえで、クロス監査を行う。
なお、実際の内部監査の実務に関しては、社内の担当者だけで実施する場合と、業務効率や品質面を考慮して「外部の知見を活用（アウトソース）」するケースがある。

- ・直前期（n-1）に「内部監査」を運用しなければならない
- ・直前々期（n-2）末までに、内部監査の体制整備（準備）をするのが一般的

内部監査とはどのような業務をしなければならないのか？

内部監査の業務プロセス



内部監査において必要な帳票等

『内部監査規程（その他諸規程）』『内部監査計画書』『内部監査チェックリスト』『内部監査通知書』『内部監査報告書』『改善指示書』『改善指示回答書』他…

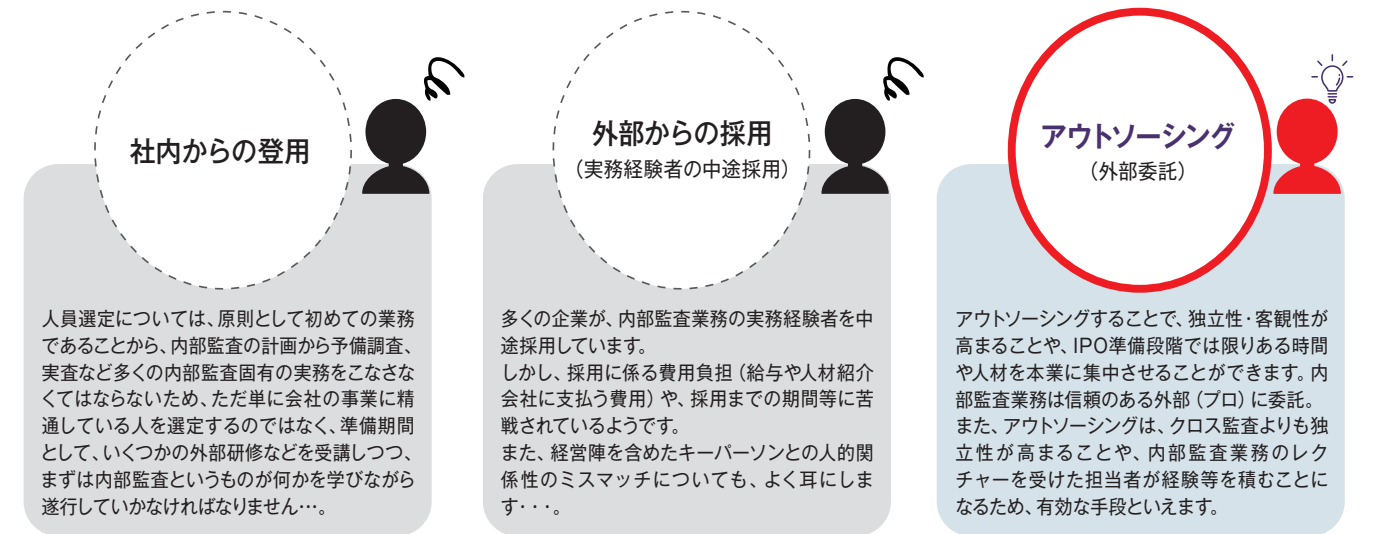
- ・内部監査にかかる業務や関連書類は、非常に専門性が高い。
- ・策定や結果等は社長承認や取締役会報告の手続きが必須。

内部監査業務をアウトソースの活用メリット

メリット01 採用・育成

社内育成や内部監査業務経験者の採用などを悩まなくてよい

アウトソーシングは、兼任担当者の配置（クロス監査）よりも独立性が高まる



メリット02 品質の担保

アウトソースすることで内部監査の品質を担保できる

監査対象部門のヒアリング、内部監査の計画書・手続き・報告書・業務改善通知書の作成、フォローアップ監査など、専門性の高い業務を軽減

内部監査の実効性を担保しながら、内部監査の業務負担を大幅に軽減（IPOの近道）

メリット03 コスト

負担のかかる、内部監査の業務プロセスをアウトソーシングすることでIPO準備の負担軽減ができる

社内リソースをコア業務に集中

アウトソースすることで、実質コスト（人件費）において、大幅減

内部監査のアウトソースのメリットを知りたい方は是非セミナーへ！

IPO時流予測レポート

- 以下のような方におすすめ
 - 最新の事例・業界情報を把握できる！
 - IPOに向けて取り組むきっかけとなる！

いますぐ
無料ダウンロード



右記のQRコードを読み取りいただき、お申込みフォームよりお申込みください。
セミナー情報を当社ホームページからもご覧いただけます！
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/107447>



セミナーの
お申込みは
こちらから

